

# 福井の眼鏡、販路拡大へ

## 県卸協組8社が新団体

### 全国で独自商談会

#### 第1弾きょうから東京

県眼鏡卸商協同組合に所属する有志8社は、販路拡大に向けて新グループ「フクイアイウェアプランナーズ」を立ち上げた。全国各地で展示商談会を開く予定で、第1弾は26、27の両日に東京の県アンテナショップ「つくへい南青山291」で開催する。(宇野和宏)

組合加盟は現在29社。中国と、NOVA(鯖江市)や山などの低価格商品に押される元眼鏡商会(福井市)など8形で、最盛期の約半分になっている。業界活性化を図ろう

アイウェアキャバン」と

銘打った展示商談会を企画した。首都圏などでの商談会は従来、県眼鏡協会などの企画に加わる形で開いてきたが、組合単独では初となる。26、27の両日は8社と同組合が出展。価格競争に巻き込まれない県内産の自社ブランドを、3〜5種類ほど並べて小売関係者に売り込む。組合は独自ブランドの「ジャビカ・サバエ」などを紹介する。

次回の予定は決まっていないが、福岡や仙台を候補地に見据えている。各都市の眼鏡卸業者が開催している展示会に「相乗り」する形も検討しており、組合員の負担を減らしながら受注増につなげたい考えだ。

8社間で、ある社を窓口にして他の商品も注文できる「相互組合い取引」を行っていく方針。業界内では珍しい取り組みと見られており、売り上げ拡大につなげる狙いだ。小売業者にとっても広く商品を仕入れられるメリットがある。

展示会委員長を務める宮本眼鏡(鯖江市)の宮本隆晴社長は「高い品質を誇る福井の眼鏡を発信していきたい」と話している。